

(様式第4号)

## 上田市景観審議会 会議概要

1 審議会名	上田市景観審議会
2 日時	令和6年8月6日(火) 午後2時30分から午後4時30分まで
3 会場	市役所本庁舎 2階 202・203会議室
4 出席者	梅干野成央会長、長島三夫副会長、工藤裕子委員、久保町子委員、小林博幸委員、小宮山千佐委員、清水文彦委員、濱村理委員、堀内真澄委員、松江朋子委員、松下重雄委員、山寄修子委員 審議事項(1)の関係者 長野大学(事務局長、事務局次長、熊谷副学長、宮原補佐、学生2名 計6名)、設計者(株式会社エーシーエ設計 計3名)、施工者(株式会社北野建設 計2名)
5 市側出席者	佐藤都市建設部長、細谷都市計画課長、久保田公園緑化景観担当係長、塚田都市計画課主査、篠井都市計画課主任、鳥羽都市計画課主任
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和6年8月20日

協 議 事 項 等

### 1 開 会 (都市計画課長)

### 2 あいさつ (都市建設部長) (梅干野会長)

### 3 審議事項

「上田市景観計画で定める建築物の高さ制限の適用除外について」

- ・ 審議事項、上田市景観計画について事務局から説明
- ・ 建築計画、設計内容、景観影響予測評価結果について長野大学、設計者から説明
- ・ 景観形成基準チェックリストの説明、適用除外の論点について事務局から説明
- ・ 以降、審議の主な質疑、意見

(委員) 新学科新設にあたって、生徒数がどれくらい増える計画か?

(長野大学) 既存学部の新編もあり、既存学部190名を150名とし、新学部定員は90名予定している。従って1学年50名増えることになる。

(会長) それに対して、建物の容積はどれだけ増えるのか。今回の計画の規模の妥当性はどうか。

(長野大学) 今回解体する1号館は、コンクリート造の一部2階建てで1,134㎡ほど。新棟は約7,000㎡ぐらいなので、6,000㎡ほど増となっている。

(会長) どれだけ面積を増やすかというのは、高さをどれだけ伸ばすかという話にも関わってくるかと思うのだけれども、1学年50人増になるということに対して、6,000㎡増えるというのは適当であるとお考えか。

(長野大学) 今まで文系の学部のみとなっており、教室が主。今回は理工系の学部ということで、それに応じた設備等が必要になってくる。今の学生数と教授の数から算定して妥当な数だと考えている。また現在、学生が集まるスペースが非常に少ないため、1階と2階は全学の学生が集まれるキャンパスの中心となる空間を設けるということで、大きさ的には妥当と考えている。

(委員) 他の建物との色の関係はどのような感じなのか。

また今後建て替えが進んでいくにあたっては、この赤が基調になっていくのか。

(長野大学) 道路から見える建物は図書館と5号館がある。図書館はRC造打ちっぱなしで灰色、5号館はベージュ系になっており、今回改修工事塗装もしていくが、同色で仕上げていきたい。それ以外の建物はベージュ系とグレー系が主な色になる。

今後建て替えの色彩については、具体的な計画が出てきたときに、景観に配慮した建物ができればいいと思う。

(委員) 新館の色遣いに関しては、かなり気を使っていると思うが、お隣の上田女子短期大学が結構な深いレンガ色で、そちらとのバランスも大事なのではないかなと思うので、色決めていただく際には、計画のような形にさせていただくのが一番いいと思う。

(会長) 次に資料2に関して、研究室から景観への影響は軽微であることが報告されたことへのご意見、それと規模のところ、今回の議論の最も重要な部分かと思うが、直接的なご意見をいただければと思う。

(委員) 除外にあたり、地元、地域、自治会の同意は必要か。一般的には日照権とか電波障害とか地域住民にあたえる影響が一番の問題になると思う。地元の方とは説明会は。

(事務局) 高さの適用除外にあたり、地元の同意や説明は必要事項ではない。

(長野大学) 1号館解体にあたり、下之郷の自治会長のお宅に伺い御報告した。さよなら1号館というイベントをし、地元の皆さんにご案内した。下之郷自治会の皆さんには公民館で新棟建設計画へのご理解ご協力をお願いする説明会を9月に予定している。

(委員) 幼いころ、本州大学の頃から、塩田平から見ると大きくて地域の代表的な建物だった。やはりキャンパスライフを楽しんだり、全国から学生が来るような、上田市を代表するような校舎になってほしい。新しい景観をここで作って、要するにランドマークになるような、塩田平から見てもあれが長野大学だと言えるように、新しい景観を作れるようなものができれば一番いい。そんなイメージで作ってもらいたい。それから、外壁の素材は何か、三角のデッキは何のためか、なぜ三角なのか。

(設計者) 建物は鉄骨造で、外壁の下地はALCパネルを使う。外側に外断熱工法で断熱材を貼り付け、その上に塗りの仕上げをする。ねじを出さずに仕上げられる素材で選定した。表面は超撥水加工になっていて、雨が当たると汚れを落とす自浄作用があり、美観も保てる。

2階のテラスの三角形は、道路の向い側の駐車場から建物の正面入口に入る動線を考えているが、庇としての役割が一つ。その下を入れてくることで、6階建ての建物が一旦視界から消え、意識をしなくなり、圧迫感の軽減になる。角度を45度の三角形にしているのは、その前のフロントプラザという広場に対して方向性を持った形でにぎわいを創出し、2階もテラスとして庇の上を使うことでフロントプラザと一体的に学生の活気あるにぎわいの場になり、地域の活力にぎわいにつながるよう計画している。

(委員) 市民の方も自由に出入りできるか。

(長野大学) 一般市民、地元の企業、産官学コンソーシアムの準備を進めている。学生のキャンパスライフの充実とともに、市民、地元企業、大勢集える場所にできたらと考えている。

(委員) 学生さんのシミュレーションを聞き、影響がないというのはちょっと寂しい、影響があっているのではと思う。大学の建物が誇れる建物であって、遠くからある程度見えてこういう建物が上田にあるのだという、そのぐらいの気持ちで建てていただきたい。綺麗な赤色がとても素敵だと思う。学生さんが誇れる青春のキャンパスライフをエンジョイできるような建物がいいと思う。

(会 長) 景観の話をするとき、既存の景観を壊さないとか、何々しないというのが大前提の話になってしまうが、今回の場合は学術の拠点であったり、その中で人の営みが密におこっていくような場所なので、ある種のランドマーク性というのを持っていてもいいのかもしれない。でも大事な場所ですよという話もある中で、その調和を図るといのがとても大事なところなのかなと思う。

(長野大学) かなりの事業費をかけて行うので、当然大学としてはシンボルになるような建物を整備したいという気持ちで計画を進めている。公立化してから7割近い学生が県外から来られている。長野大学を選んでせっかくこの地で4年間を過ごされるので、いいところで学んだと思われるように環境をつくるのは私どもの務めだと思っている。学生だけではなくて地域の方々にも研究や、学生と交流をしていただく場にしていきたい。応援していただけるご意見をいただいて、本当にありがたい。

(会 長) ただ、ちょっと気をつけていただきたいのは、やや議論が開発側の方に向いたときにしっかり意識をしないといけないのは、建物は宇宙船ではないということだと思う。やはり着地する場所があって、その中でいかにその風景と一体となって美しい風景を構成していくか、今回先生方からいただいた評価はその風景をおかしてないという議論でしたけれども、建物が象徴性を帯びていくとするならば、それが風景に対してどう働きかけるのか、良い方向に働きかけているということをぜひお伝えいただきたい。

(委 員) 日陰も検討され、南側に建物がなく影も学内だけなので問題はないでしょう。色も実際の色を大きなもので見て、さらにもっと広い面積になるので、明るい場所で見るともっと色も薄く感じて圧迫感もないと思う。ただ人数が200名増えるのに対して6,000㎡も増えるのは、共用の場所が増えるのはとてもいいことだと思うが、1階減らしてもいい気もした。県内産の木材の使用は考えているか。

(設計者) 設計の中では上田市産材の木材を内装に使っていただけると、限られた予算の範囲で最大限に地域性も出していただけると考えている。

赤というところについても、上田らしさ塩田らしさを考えたときに、鳥居、真田レッド、別所線の橋梁、隣の上田女子短期大学の素材としてタイルレンガの赤など、地域に、塩田に根付く赤色を建物に使うことで、ランドマーク性もうまれてくるのではないかと考えている。

(委 員) 6階建ての規模は必要か。

(長野大学) 理工系学部で、各ゼミの先生の数や、ゼミの数、各3コース新しく開設する科目、カリキュラムから考えると、3階以上の部分はどうしても必要になるので、この規模は妥当だと思っている。やはり全学の学生が集まる所が本当になくて、かわいそうな思いをしていると思う。少しでもなくしていくため、1階2階は全員が集まれる、新しい大学の中心となる場を作っていきたい。面積的には本当はもう少し増やしたいと思うところもあるが、面積敷地お金を考えたときに今の平米数が妥当であると考えている。

(長野大学) 補足ですが、ゼミ生で3年位前キャンパス環境が非常に狭くて悪いと、本学の学生数とキャンパスの面積を他の大学と比較をしたことがある。大学のキャンパスの面積は文科省の方の大学設置基準で決まっていて、それ以上であることは確認できたが、他の国公立大学とか私立大学と比べて本学の環境は、学生にとってはあまりよろしくない状況になっていて、そこを改善する意味も含めて、順当な面積を増やしているとお考えいただければと思う。学生にとっての率直な感想を。

(長野大学学生) 食堂が本学の人数に対して規模がない、結構行列ができて外で食べる子もいたり1号館の教室を借りたり、大学のキャンパスに対して人が多くキャンパスの広さが足りないと感じたことはある。

(長野大学学生) 去年、今年は対面の授業が増えて、学食で学食のご飯だけではなくて弁当を持ってとなると、もう本当に全然スペースが足りなくて。困っている1、2年生も結構見ているので、広いのはありがた

たいと思う。

(長野大学) やはり学生が自由に滞留したり懇談できる場所がすごく少なく、それを今回新棟の方には各階に設けているということも含めて、面積的には本当にここを許容していただきたい。

先ほど私達の説明については前提条件の説明が悪かったと思うが、基本的には設計者さんから説明があった通り、景観に配慮して地域の新象徴的な場所にしていくというコンセプトは前提にしながら、ただこの塩田平がまさに日本遺産にも指定されているところなので、そこにインパクトも与えないという参考的な資料で提示をさせていただいた。

(事務局) 現在詳細設計中ということで高さ 30.7m だが、さらに高くなる可能性があるか。もし変更等可能性あるようなら程度などわかれば教えてほしい。

(設計者) KBM という基準の点からの高さは変わらない。ただ、建物の高さを申請上は設計の地盤面、建物が外構と接する地盤面からの高さ、平均地盤からの高さ、それを今後実施設計で詰めていく中で数値上、200 とか 300 の範囲内でプラスマイナスになったり、外構のレベル設定によって変わる可能性があることと、具体的には避雷針だが 30.7m を超えるものとして出てくる。ただ基準法の高さには含まれないもの。

(事務局) 今後 20 センチ 30 センチ変更があった場合、今回の審議会でのご意見をもって承ってよろしいか、あるいは変更があった場合に再度会議を開く必要があるか、審議会の皆様にお伺いしたい。

(会 長) 承認するかどうかの話が前提としてある話かなとも思うが、その決を取ってからお聞きする。

まとめに入りたい。今回景観計画に定める高さ制限の適用除外を認めるということに対して、異論なしなのか有りなのかというところになるかと思うが、皆様の意見を聞いていて、特にクリティカルな反対の意見はなかった。異論なしというところで、皆様のご意見をお聞きしたいと思う。異論なしでよろしいでしょうか。

(委 員) 拍手

(会 長) ぜひともね、学生たちに豊かな教育環境を準備していただくというところを一つ条件としながら異論なしというところなのかなと思っております。

ではこれを持って異論なし異議なしということで審議会全体の意見としたいと思います。

事務局の方には、本日各委員から出された配慮すべき事項について、建築主が行う修正対応等への進捗管理をお願いしたい。

それで先ほど事務局の方からあった 20 センチ 30 センチ場合によっては高くなる可能性がある、ということに対して改めてこの審議会を開く必要はあるか？無しでよろしいか。事務局に一任するという事でお願いできればと思う。

#### 審議結果

高さ制限の適用除外について異論なし

4 その他  
特になし

5 閉 会 (都市計画課長)